

2014年8月1日

## 大規模太陽光発電プロジェクト(福島県泉崎村)向けファイナンスの実施について

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)は、森トラストグループが実施している福島県泉崎村における大規模太陽光発電プロジェクト(第2期事業)に対し、10億円のファイナンスを決定しました。

### <プロジェクトの概要>

名称	森トラスト・エネルギーパーク泉崎
所在地	福島県西白河郡泉崎村太田川大高向1
発電予定容量	第1期: 2MW 第2期: 8MW(一般家庭約2,500軒分)
発電事業者	森トラスト株式会社

本プロジェクトについては、2013年8月より運用を開始している第1期事業に続き、第2期事業の運用開始に向けて発電施設(メガソーラープラント)の建設が進んでいます。福島県における太陽光発電事業への資金供給は第一生命として初の試みとなります。

森トラストグループは、東日本大震災で被災し営業を停止した旧ラフォーレ白河ゴルフコースの跡地を活用して、メガソーラーによる売電事業へ事業転換を行う計画で、既に昨年8月から第1期事業として2MWの発電を開始しています。森トラストでは、グループの持つ経営資源やノウハウを活用し、被災地における事業を継続することで被災地の復興に寄与していく方針を掲げており、今回のメガソーラー事業もその一環となります。

第一生命では、今回の資金供給を通じて森トラストグループによる地域に密着した太陽光発電事業を支援していくことで、被災地の復興支援や地域経済の持続的な成長・発展に貢献したいと考えています。また、今後も機関投資家としての本来機能を発揮して成長分野への投融資等を積極化し、第一生命の企業価値向上を図るとともに、社会的要請の強い電力安定供給への貢献、および国内経済の持続的な成長に寄与したいと考えています。今後もメガソーラーに限らず、様々な環境・インフラ分野への投融資等、E(環境)・S(社会)・G(企業統治)の視点を盛り込んだ資産運用に積極的に取り組んでいきます。

<参考> 森トラスト・エネルギーパーク泉崎 メガソーラープラント



提供: 森トラスト株式会社